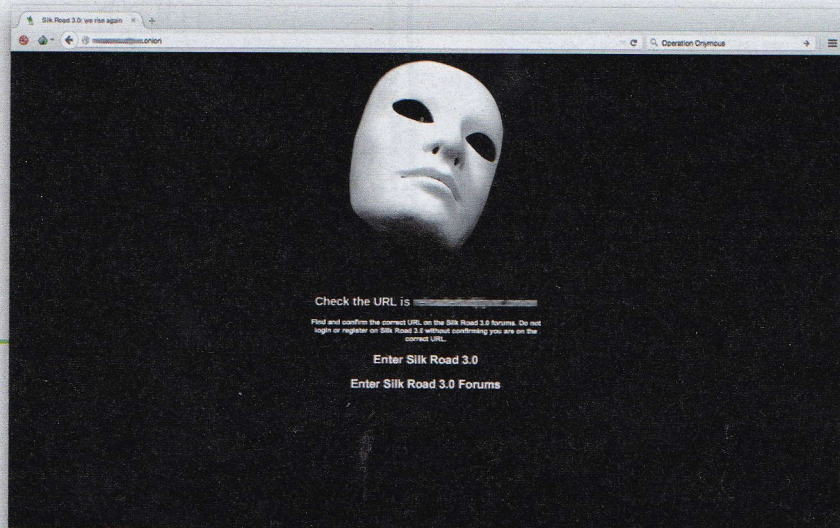


検索エンジンでは出てこない隠された領域——
銃、ドラッグ、個人情報やウイルスが販売される悪の温床の実態とは

非合法の闇市と化す

ダークウェブの謎に迫る

なにごとにも普通には見られない「裏」の世界が存在する。インターネットも例外ではなく、銃やドラッグが取引されるダークウェブと呼ばれる世界が広がっていた。



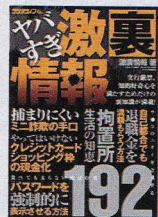
シルクロードとは?

「シルクロード」は、ダークウェブ内に存在したショッピングサイトの最大手。「ドラッグのeBay」とも呼ばれていたが、'13年にFBIによりサイトは閉鎖され、運営者も逮捕。その後継を名乗った「シルクロード 2.0」は、違法薬物や偽造パスポート、ハッキングツールなどを販売していた。だがFBIやユーロポールなどによる、'14年の「Operation Osmium」により閉鎖。現在は「シルクロード 3.0」が継承していると言われる。

買えないものは何もない?
ネットの闇にアクセスする

普段になげなく使っているインターネットには、Googleで検索しても見られない、裏の世界「ディープウェブ」が広がっている。「研究者によると、一般の人が目に触れるサイトのウェブ全体に占める割合は、1%にも満たない。

そんな見解を示しています」説明してくれたのは、インターネットに精通する「激裏情報」主宰の本堂マサヤ氏。つまり、残りの99%は、ディープウェブの世界。その広大な仮想空間の中には特定のツールやサービスを使っ



「激裏情報」主宰
本堂マサヤ氏

「激裏情報」を主宰。'96年から同サイトにて、世の中の裏側を詳細に伝えている。
<http://gekiura.com>

アクセスできない領域があり、「ダークウェブ」と呼ばれる。そこはまさに無法地帯。あるうことが、銃やドラッグが日常的に取引されているのだ。

「もともとは米海軍の研究試験所が、諜報活動や情報源とのやりとりを秘密にする目的で開発したものです」(本堂氏)

ダークウェブにアクセスできる代表的なツールが、Tor(トール)と呼ばれるブラウザだ。一般的に、パソコンなどの端末からインターネットに接続すると、ユーザの足跡が残る。だが、その足跡を消せるのがTor。'12年に起こったパソコン遠隔操作事件でも犯人はTorを利用。警察はなかなか犯人を特定できなかった。

このTorだが、実は誰でも簡単にダウンロードできる。筆者も試してみたが、一般的なソフトと同様に、驚くほどあっさりといんストールできてしまった。

銃や麻薬などの取引から殺しの依頼までできる!

Tor自体は一般的なブラウザと同じ。ただ、違いは2つある。1つは、自分のパソコンを特定す

ダークウェブの知られざる15年史

通信を暗号化したネットワーク
「Free Net」が登場

P2Pネットワークが台頭

Torは非営利団体に支持されるプロジェクト

匿名通信システム
「The Onion Router」(Tor)が開業

シルクロード設立

FBI 捜査開始

「ビットコイン」開始

閉鎖

アシュレイ
マティソン
顧客データ流出

高校生がTorを使用し
化学テロ犯行予告

片山祐輔氏によるパソコン
遠隔操作事件発生!

2000 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15